

2025年度

ニチキッズ一番丁保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月26日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月5日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの成長や発達に合わせた保育環境の整備を行い、手作り玩具作り等にも積極的に取り組んだ。
子どもの発達援助	各クラスの日々の保育を反映した保育計画を立案し、柔軟な保育実践を行った。今後も個々の発達援助について、専門機関とも連携を図りながら、より良い支援となるよう保育計画と実践を行う。
保護者に対する支援	対面でのコミュニケーションに注力した。送迎時や面談等で日々の様子を共有し、保護者の想いをしっかりと汲み取りながら子どもの成長発達に関する情報提供や保護者が子育てに向き合う環境作りを支援した。
保育を支える組織的基盤	キャリアアップ研修等の外部研修に積極的に参加し、個々の職員のスキルアップを図った。多職種職員間の連携について課題があるため、ミーティング等を積極的に活用しながらより園全体でより良い組織的基盤を醸成できるよう取り組みを行いたい。

総評
保育理念や保育方針に沿った保育計画の立案、実践を行うことができた。また、様々な家庭環境や背景を持つ保護者に対し、一人ひとりに寄り添い、丁寧な対応を行うことで保護者との信頼関係を築き、より良い支援を行うことができた。次年度に向けては、子ども一人ひとりの成長発達をより深く理解し、ミーティング等を通して園全体で共通理解を図ることで、保育の属人化を解消し、保育者間で支援の統一標準化を行いたい。多職種間の連携についても見直しを図り、より良い保育、環境構成に向けた意見交換を活発に行えるようなミーティングのあり方を検討していく。